

門別ことぶき学園第1回本科「いきいき百歳教室」

門別ことぶき学園第1回本科「いきいき百歳教室」が9月1日に門別公民館で、9月15日に富川公会堂で開催され、あわせて29名の学園生が参加しました。

教室では、門別地域包括支援センターから講師を迎え、介護予防についての講話や簡単な体力測定が行われました。

また、教室の最後には、介護予防を目的として平成14年に高知県高知市で開発された“いきいき百歳体操”の体験も行われ、参加した学園生は、介護予防の重要性について真剣に学んでいました。



ひだかkidsクラブ「かけっこ教室」

9月3・7・14日の3日間、ひだかkidsクラブのかけっこ教室が開催されました。

日高小学校に通う3年生から6年生の8名（延べ23名）の子どもたちが、日高町スポーツ指導員の池田光輝氏の指導により、基本的な足の運び方や腕の振り方を学びました。



日高町・平取町キッズ交流会

9月12日、日高町教育委員会と平取町教育委員会の合同による日高町・平取町キッズ交流事業「カムイの宝をさがせ！ウォークラリー in 二風谷コタン」が開催され、日高町から11名、平取町から7名が参加しました。

今年度は平取町二風谷コタンで開催され、アイヌ文化をテーマにしたウォークラリーや、アイヌ文様をイメージしたオリジナルのコースター作りを体験しました。

ウォークラリーでは、アイヌ文化にまつわるクイズや体験が出題され、中には二風谷に住んでいる方とアイヌ語で会話する課題もありました。

参加者は「アイヌ模様にそれぞれ意味があることを初めて知った。」「アイヌ語が少し話せるようになった。」などの感想が聞かれました。

事業を通し、他町の参加者と交流することで、お互いに協調し学び合い、助け合う姿が見られました。



アクティブ・プログラム自然探検隊がスタートしました

9月より、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期していた「アクティブ・プログラム自然探検隊」がスタートしました。

本事業は、日高町スポーツ少年団指導者協議会と日高町教育委員会の共催事業として開催され、各事業は門別スポーツリーダーズクラブが運営しています。

今年度は14名の登録により来年3月まで、様々な野外体験活動が開催される予定です。

■沙流川ラフティング

9月12日には、第1回目の事業として「沙流川ラフティング」が開催されました。

今年度は日高地区の北海道アウトドアアドベンチャーズにご協力をいただき、平取町振内コースの約4kmを下りました。

前日の雨により、水量も多く、流れが速い中でのラフティングでしたが、スリル満点のラフティングに参加者もとても楽しそうに体験していました。



■「海釣り」

9月19日には、第2回目の事業として厚賀漁港内で「海釣り体験」が開催されました。

仕掛けの取付けや生き餌の扱いに苦労した参加者もいましたが、参加者同士で協力しあう姿が見られ、サバやウグイなどが釣れました。

お昼には、厚賀の漁師さんにより厚賀浜近海で獲れたアキアジをご提供いただき、チャンチャン焼きをご馳走になりました。



サイクリングの秋！「沙流川サイクリング」

9月27日、沙流川の堤防を舞台に青少年体験活動事業「沙流川サイクリング」が開催されました。

当日は、親子約30名が参加し、新光町生活館をスタート、沙流川の堤防をサイクリングしました。

折り返しである平取町の親水公園でエネルギー（昼食）をたっぷり補給し、往復30kmの長い道のりを参加者全員が完走しました。

心地よい風の中、子どもたちは元気よくペダルを踏んでいました。

